



2026 年 7 月 24 日

## 金融庁「地域活性化取組事典」への掲載について

株式会社ひろぎんホールディングス（社長 廣江 裕治、以下「当社」）は、このたび、金融庁が公表する「地域活性化取組事典」に、当社グループの取組みが掲載されることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 金融庁「地域活性化取組事典」への掲載について

金融庁は、2025 年 12 月 19 日に「地域金融力強化プラン」を公表し、地域金融機関による地域企業の価値創造と地域活性化に向けた取組事例集「地域活性化取組事典」を取りまとめることとしております。各金融機関は、本事典を活用しながら他の地域での取組みを相互に学び合い、応用し、実践していくことが期待されております。

当社グループは、「地域の成長なくして当社グループの成長なし」との考えのもと、地域社会およびお客さまのあらゆる課題解決に徹底的に取り組み、地域経済の発展に貢献することで、「活力ある地域の実現」と当社グループの「企業価値の向上」を図っております。

今後も、非金融分野を含めた多角的なソリューションを提供し、地域社会およびお客さまの課題解決に資する取組みを積極的に推進することで、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

#### 2. 当社グループの取組概要（詳細は別紙をご参照ください。）

| 取組名称 | シトラスパーク瀬戸田（尾道市・瀬戸田町）再生事業<br>～地域課題解決策創出の拠点として～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 当社グループが一体となって、施設運営会社の設立から行政と連携した事業構築までを行い、島しょ部における公共遊休施設の再生を目指すプロジェクト</li><li>➤ 利用者数が低迷し、休園していた「シトラスパーク瀬戸田」の再生を目指し、地域課題をビジネスの力で解決しようとする地元企業と連携し、プロジェクトの立ち上げから施設運営まで一貫して取り組む</li><li>➤ 当社グループは、事業計画策定段階から関与し、広島銀行、ひろぎんキャピタルパートナーズおよびひろぎんリースが連携した上で、融資、出資、リースまであらゆる面のサポートを実施。また、ひろぎんエリアデザインから役員を派遣し、運用面でも深く関与</li></ul> |

以 上

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ひろぎんホールディングス  
経営企画部 経営企画グループ  
Tel (082) 245 - 5151（代表）

# シトラスパーク瀬戸田（尾道市・瀬戸田町）再生事業 ～地域課題解決策創出の拠点として～

2026年7月



## 1. 取組みの概要

- ✓ 当社グループが一体となって、施設運営会社の設立から行政と連携した事業構築までを行い、島しょ部における公共遊休施設の再生を目指すプロジェクト
- ✓ 利用者数が低迷し、休園していた「シトラスパーク瀬戸田」（以下、当施設）の再生を目指し、地域課題をビジネスの力で解決しようとする地元企業と連携し、プロジェクトの立ち上げから施設運営まで一貫して取り組む

## 2. 取組みに至った経緯

- ✓ ひろぎんエリアデザインが、今後の瀬戸内海地域の振興において「観光」と「農業」が地域課題であると整理していたところ、尾道市（当施設の所有者）が休園中であった当施設の営業再開に向け、民間事業者を募集しているとの情報を入手
- ✓ 当施設は、同社が整理した地域課題の解決策創出拠点として最適であると判断し、運営への関心を持っていた
- ✓ しかしながら、島しょ部特有の事業運営の難しさもあり、当社グループのみでの運営には限界があったため、地域課題をビジネスで解決することを目指す株式会社マリモホールディングス（代表取締役社長 深川真）と連携し、共同で運営事業者に応募
- ✓ 尾道市より事業者選定を受けたことから、運営会社「株式会社せともす」（以下、せともす社）を設立し、2022年8月から事業を開始

（当施設エントランスより瀬戸内海を望む）



（当施設内の宿泊施設より瀬戸内海を望む）



（当施設内で栽培するレモン）



# 具体的な取組み、当社グループの関与ならびに取組成果

## 3. 具体的な取組み

- ✓ 当施設が所在する尾道市・瀬戸田町（生口島）の地域課題を、①観光、②農業（柑橘栽培）、③島南部の活性化に整理
- ✓ これらの課題に対し、解決策としての取組みを通じて地域活性化とビジネスの両立を目指した

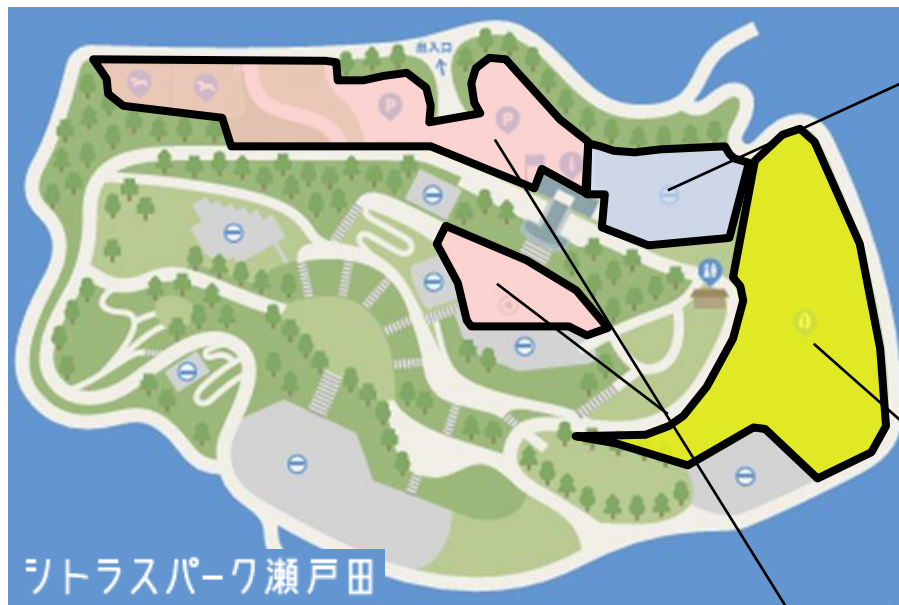
|            | ①観光                                                                                                                                       | ②農業（柑橘栽培）                                                                                                                               | ③島南部の活性化                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課題         | しまなみ海道を渡るサイクリスト等の増加により、観光客数は増加しているものの、観光消費額が伸び悩む                                                                                          | 日本最大のレモン産地（国内シェア約25%）だが、担い手不足により耕作放棄地が増加                                                                                                | 当施設の休園により、元来観光資源に乏しい島南部の成長が停滞                                                                                                |
| 解決策としての取組み | <p>グランピング施設（「レモンファームグランピングしまなみ」）を運営、宿泊による観光消費額増加を促す</p>  | <p>自らがレモン農場を開設。1,300本の苗木を植樹・栽培中。将来的には農業人材の育成を目指す</p>  | <p>ドッグラン、サイクリングイベント等、当施設をにぎわい拠点として活用</p>  |

## 4. 当社グループの関与

- ✓ せとむす社に対し、事業計画策定の段階から関与。広島銀行、ひろぎんキャピタルパートナーズおよびひろぎんリースが連携した上で融資、出資、リースまであらゆる面のサポートを実施。また、ひろぎんエリアデザインから役員を派遣し、運営面でも深く関与

## 5. 取組成果

- ① 観光：グランピング施設の稼働は好調で、通年の営業黒字を確保。マスコミ等でも取り上げられ、知名度は県内有数
- ② 農業：レモンは有機JAS認証の取得を予定。農福連携の取組みにも積極的に関与し、首都圏への高単価での販売を目指す
- ③ 島南部の活性化：地域事業者や地域住民との関係を構築し、商品の仕入れは極力地元で行い、地域経済に貢献。  
その結果、行政を含め、地域を挙げて当施設の再生を応援する機運醸成ならびに協力体制構築に成功



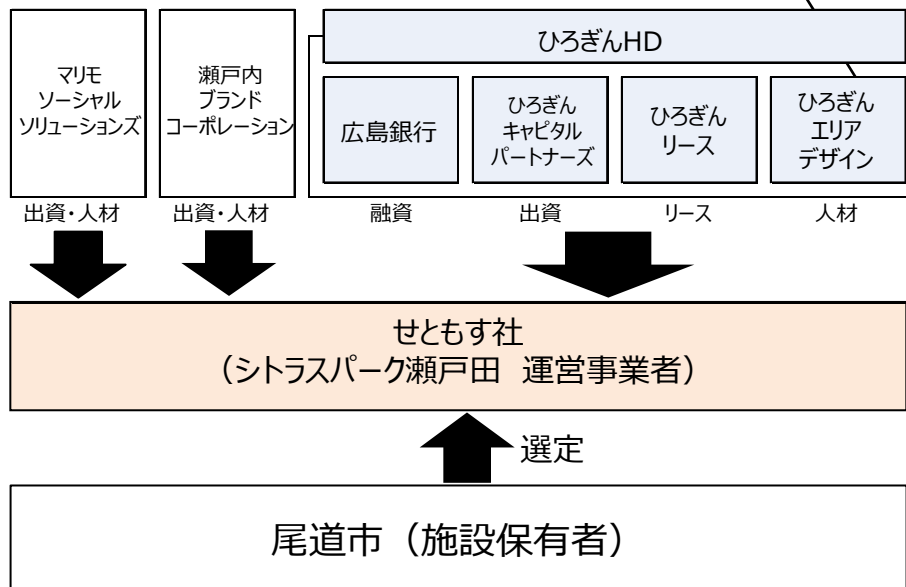
## グランピング施設「LEMON FARM GLAMPING しまなみ」

- ・瀬戸内海の多島美を一望できる全室オーシャンビューの絶景グランピング
- ・全8棟の完全個室タイプでプライベートな時間を満喫
- ・愛犬とも宿泊も可能



## レモン農園

- ・1,300本のレモンを育成中
- ・有機JAS認証取得予定
- ・農福連携やアップサイクルの取り組みも実施
- ・今後、首都圏を中心に域外への販売を目指す



## にぎわい拠点としての再生

- ・桜の名所として毎年春には「桜まつり」を開催
- ・開放的なドッグランを整備、宿泊客以外の方も利用可能
- ・駐車場を活用し、サイクリングイベント（休憩所）、自動車オーナーのオフ会など様々なイベントを開催

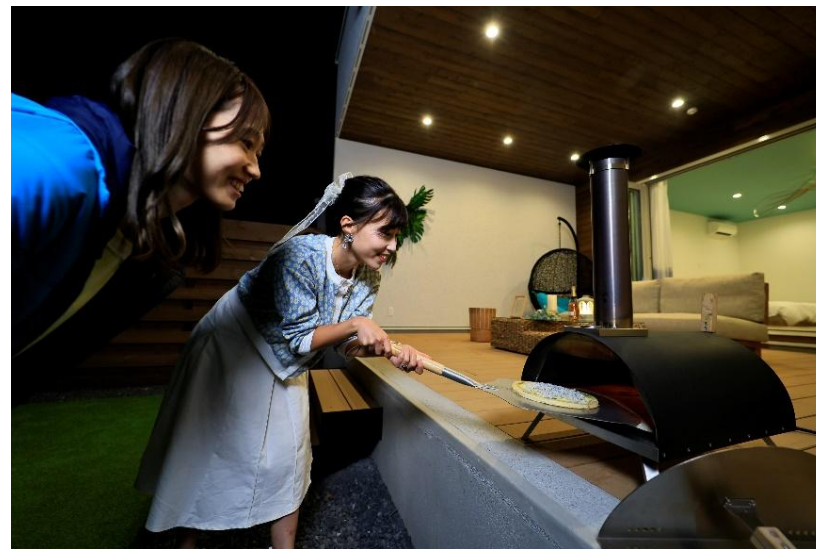


# (ご参考①) グランピング施設「レモンファームグランピング しまなみ」

別紙

- ✓ 瀬戸内海の多島美を一望できる全室オーシャンビューの絶景グランピングとして、高い人気を誇る
- ✓ また、ピザ焼き体験やサウナ併設など、多様なアクティビティを提供

(レモンファームグランピング しまなみの施設外観、アクティビティ、食事)



## (ご参考②) レモン栽培の複合的な取組み

- ✓ 栽培するレモンは有機JAS認証取得予定
- ✓ 「ひろしまノウフクコンソーシアム」にも加盟、農福連携にも取り組むほか、搾汁した柑橘類の皮を活用したアップサイクル製品の商品開発も目指す
- ✓ グランピング施設と連携し宿泊者向けのレモン狩り体験プランも提供

(瀬戸内海を一望するレモン畑)



(農福連携の取組み)



(グランピング施設と連携した宿泊者向けのレモン狩り体験プラン)



(アップサイクルを目指す搾汁皮)



## (ご参考③) 公園としての魅力

- ✓ 園内には多数の桜があり、イベント開催（桜まつり、サイクリングイベントのエイドステーション）としてにぎわいの創出に貢献
- ✓ また、開放的なドッグランも併設

（毎年、桜の時期に開催される桜イベント）



（園内に併設されているドッグラン）

